2024年度
大卒程度公務員講座
教室対面コース

東京アカデミー
青 森 校

Aコース
（夜土日部行政クラスⅠ/土日部教養クラスⅠ）

1 各種フォローガイダンス

学習の仕方、受験科目や試験情報、併願スケジュール、面接試験対策 など、様々なガイダンスを実施！

2 欠席時の音声データ提供

やむを得ない事情で欠席・遅刻・早退などで、受講できなかった講義は、音声データを提供！

※欠席・遅刻・早退時は必ず事前のメール連絡が必要となり、音声データは、ダウンロードURLをその連絡に返信にて提供します。
面接対策など、音声データを提供できない場合もございます。

3 個別模試 成績面談

模試結果をもとに、成績分析の方法や志望先に合わせた学習など、個別にアドバイスを実施します！

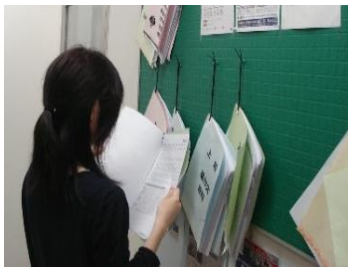
※原則、事務局や教室での対面での面談となります。

4 面接カード作成アドバイス

出願時や2次試験時に、志望動機や自己PR等の記入が必要な試験の面接カード（エントリシート）の作成アドバイスを実施！

5 受験報告書の提供

人物試験対策パーフェクトガイドに未掲載の青森県内の自治体も、OB・OGからの情報提供で作成した面接カードの閲覧ができる！



6 2次試験対策ガイダンス

受験者の多い青森県や青森市など、1次合格発表後に、2次試験の特徴や押さえておくべき点など、その試験に特化した情報を提供！

7 面接練習

個別面接・グループワーク・集団面接など様々な面接試験の形式で練習を実施！（1次試験合格者対象）

8 合格者座談会

実際の合格者から、学習の進め方や合格者勉強方法、苦労したことなど、最終合格の秘訣を合格者の生の声で学ぶことができます！

モデルカリキュラム一例

【ご注意ください！】
青森校の教室対面コース（夜土日部行政クラスⅠ/土日部教養クラスⅠ）のモデルカリキュラムとなります。
全日短期の講義日程は別紙でご確認ください。

	土	日
	行政・教養クラス共通	
1000-1100	オリエンテーション	教養科目
1110-1210		教養科目
お昼休み	お昼休み	
1300-1400	人物対策 論文対策 イベント ガイダンス など	教養科目
1410-1510		教養科目
1520-1620		教養科目
1630-1730		（教養科目）

※2023.4月～8月末まで、併設高卒公務員講座と合同講義となります。
※土は、2023.10月以降、月1～3回程度の実施となります。

〇2023.4月～2023.9月中旬まで（併設高卒公務員講座と合同講義）

	月	火	木
	行政クラスのみ		
1820-1920	教養科目	教養科目	教養科目
1925-2025	教養科目	教養科目	教養科目

〇2023.10月～2024.4月末まで

	月	水	木
	行政クラスのみ		
1830-2030 （5分休憩含）	専門科目	専門科目	専門科目
	専門科目	専門科目	専門科目

※月は補講日および3月中旬より月2回～3回程度

合格体験記 ～先輩から合格の秘訣やアドバイスをお伝えします～

青森市事務 最終合格　蝦名凌太さん（青森公立大学）

公務員試験ではとても広い範囲を勉強することを求められます。全てを網羅的に勉強することは、限られた時間の中では大変であり非効率的です。いかに頻出分野をマスターするかが重要だと感じました。そのために活用したのが「出たDATA問」です。出た問には頻出度が示されているため、どこを重点的に勉強すればいいかがわかりやすく、時間を有効に使えます。そして教科書を読んで覚えるよりも、過去問を解きながら教科書を活用することで、より理解度が深まると感じました。公務員試験は長期戦なので挫けそうになることが多々あるでしょう。それでも自分の一生をこの少しの間で決まると思うと頑張ろうという気持ちになると思います。自分の明るい未来のために継続することを心がけましょう。

青森市消防・北海道警 最終合格　齋藤大輔さん（青森中央学院大学）

公務員試験の勉強をするにあたって、直前になり一気に詰め込むと頭に入らないと思ったので大学3年生の早い段階から高卒レベルの授業を受講しました。
特に一般知能が得意ではなかったので3年生の段階では数的、判断、空間に力を入れました。
この３つの中で判断と空間はパターンを覚えれば分かりやすく自分なりに攻略本として授業のノートを綺麗に見返した時にわかりやすいようにしました。数的推理の計算はどうしても苦手だったため、わかるところを伸ばし、自分の分かるところだけ解き部分的に覚えていました。
面接練習は、東京アカデミーはもちろん学校のキャリア支援やゼミの先生など、とにかくいろんな人とやり、過去の受験生の質問集をノートにまとめ自問自答をしていました。

国家一般職 最終合格　阿保来佳さん（青森公立大学）

東京アカデミーに通って良かった点は、個人面接対策に力を入れることができた点です。ある先生が、「面接官は優しい人ばかりではない」と仰っていたことがとても印象に残り、私は厳しい先生に面接練習をしていただいていました。練習を重ねたことで、本番の面接では落ち着いて笑顔で面接することができました。
私は、数的推理がとても苦手で嫌いでした。「数的推理は明日やろう」と数的推理から逃げてきました。その結果、最後まで数的推理を得意科目にすることはできませんでした。苦手な問題から逃げないことがとても大切だということを実感しました。公務員試験の勉強をしていると辛いことがたくさんあると思いますが、1人で抱え込まずに先生方や家族、友達に相談したりして、最後まで諦めず合格を勝ち取って下さい！